

保健医学講座

Welfare Promotion and Epidemiology

教授	鏡森 定信	Sadanobu Kagamimori
助教授	関根 道和	Michikazu Sekine
助手	濱田 仁	Jin Hamada
助手	立瀬 剛志	Takashi Tatsuse
助手(前)	金山ひとみ	Hitomi Kanayama

著 書

- 1) 鏡森定信：第7章 医療と健康。「海洋深層水利用学」藤田大介，高橋正征編，135-155，成山堂，東京，2006.
- 2) 鏡森定信：健康管理の方法。「基礎から学ぶ健康管理概論」柳川洋編，89-104，南江堂，東京，2006.
- 3) 鏡森定信：職場の健康管理。「基礎から学ぶ健康管理概論」柳川洋編，173-184，南江堂，東京，2006.
- 4) 鏡森定信：高齢期の健康と病気ならびにその予防.高齢者の保健の福祉(中島紀恵子編).57,NHK 学園,東京,2005.

原 著

- 1) Kagamimori S., Nasermoaddeli A., Sun Y., and Sekine M.: Study of a mortality surge among transport workers in Japan. J. Occup. Health, 48: 514-516, 2006.
- 2) Ikeda Y., Iki M., Morita A., Kajita E., Kagamimori S., Kagawa Y., and Yoneshima H.: Intake of fermented soybeans, natto, is associated with reduced bone loss in postmenopausal women: Japanese population-based osteoporosis (JPOS) study. J. Nutrition, 136: 1323-1328, 2006.
- 3) Iki M., Morita A., Ikeda Y., Sato Y., Akida T., Matsumoto T., Nishino H., Kagamimori S., Kagawa Y., Yoneshima H., for the JPOS study group: Biochemical markers of bone turnover predict bone loss in perimenopausal women but not in postmenopausal women-the Japanese population-based osteoporosis (JPOS) cohort study. Osteoporos. Int., 17: 1086-1095, 2006.
- 4) Nasermoaddeli A., Sekine M., Kagamimori S.: Gender differences in associations of C-reactive protein with atherosclerotic risk factors and psychosocial characteristics in Japanese civil servants. Psychosom. Med, 68: 58-63, 2006.
- 5) Nasermoaddeli A., Sekine M., Kagamimori S.: Intra-individual variability of high-sensitivity C-reactive protein: age-related variation over time in Japanese subjects. Circ. J., 70: 559-563, 2006.
- 6) Sekine M., Chandola T., Martikainen P., Marmot M., Kagamimori S.: Explaining social inequalities in health by sleep: the Japanese civil servants study. J. Public Health, 28: 63-70, 2006.
- 7) Sekine M., Chandola T., Martikainen P., Marmot M., Kagamimori S.: Work and family characteristics as determinants of socioeconomic and sex inequalities in sleep: the Japanese civil servants study. Sleep, 29: 206-216, 2006.
- 8) Sekine M., Chandola T., Martikainen P., Marmot M., Kagamimori S.: Socioeconomic inequalities in physical and mental functioning of Japanese civil servants: explanations from work and family characteristics. Soc. Sci. Med., 63: 430-445, 2006.
- 9) Sekine M., Nasermoaddeli A., Wang H., Kanayama H., Kagamimori S.: Spa resort use and health-related quality of life, sleep, sickness absence, and hospital admission: the Japanese civil servants study. Complement Ther. Med., 14: 133-143, 2006.
- 10) Gaina A., Sekine M., Kanayama H., Yamagami T., Hu L., Sengoku K., Kagamimori S.: Morning-evening preference: sleep pattern spectrum and lifestyle habits among Japanese junior high school pupils. Chronobiol. Int., 23: 607-621, 2006.
- 11) Gaina A., Sekine M., Hamanishi S., Chen X., Kanayama H., Yamagami T., Williams R., Kagamimori S.: Epidemiological aspects of self-reported sleep onset latency in Japanese junior high school children. J. Sleep Res., 2006: 15: 266-75.
- 12) 齋藤友博, 鏡森定信：小児期の睡眠と肥満との関連に関する経時的解析. 成長科学協会研究年報, 29: 143-150, 2006.
- 13) 王紅兵, 関根道和, 許鳳浩, 金山ひとみ, 立瀬剛志, 上馬場和夫, 鏡森定信：寢室温度の早朝血圧上昇に対する影響. 日温気物医誌, 69: 234-244, 2006.
- 14) 鏡森定信, 立瀬剛志, 中谷芳美, 松原 勇, 広田直美, 梶田悦子：温泉は健康寿命の延伸に寄与するか 温泉を利用した健康増進施設を開設したJ町の3年間の追跡調査. 日温気物医誌, 69: 187-194, 2006.
- 15) 松原 勇, 鏡森定信：休養目的での温浴施設滞在と健康状態との関係の統計的研究 多重ロジスティックモデルを用いた分析. 石川看護雑誌, 3: 45-50, 2006.

総説

- 1) 鏡森定信：健康増進からみた温泉の効果に関する最近の研究．老年医学，44: 457-466, 2006.
- 2) 鏡森定信：泉質別にみた温泉の効果，日温気物医誌，69: 223-233, 2006.
- 3) 王紅兵，鏡森定信：過去 20 年間に邦文で報告された温泉の健康増進作用に関する研究論文のレビュー．日温気物医誌，69: 81-102, 2006.

学会報告

- 1) Kajita E., Nakatani Y., Matsubara I., Komatsu M., Takeuchi S., Kagamimori S.: Relationship between the experience of falls and fracture and the state social of participation in female elderly people living in the local community. IOF world congress on osteoporosis, 2006. 6. Toront.
- 2) Lahelma E., Lallukka T., Laaksonen M., Marticainen P., Rahkonen O., Chandola T., Head J., Marmot M., Sekine M., Nasermoaddeli A., Kagamimori S.: Socioeconomic differences in health behaviours among employees from Britain, Finland and Japan. Supplement 14th annual EUPHA meeting politics, policies and / or the public's health montreux, 2006, 11, Montreal.
- 3) 仙石佳代，関根道和，金山ひとみ，ガイナ・アレクサンドル，鏡森定信：中学生における肥満が睡眠に及ぼす影響の性差．第 40 回富山県公衆衛生学会，2006，2，富山.
- 4) 佐伯謡，アリ・ナセルモアッデリ，関根道和，金山ひとみ，鏡森定信：肯定的・否定的感情が睡眠の質に及ぼす影響．第 40 回富山県公衆衛生学会，2006, 2, 富山.
- 5) 新村哲夫，長瀬博文，荒谷哲雄，鏡森定信：市販お茶飲料中のフッ素含有量について．第 76 回日本衛生学会総会，2006，3，宇部.
- 6) 金山ひとみ，直井 明，鏡森定信，王紅兵：高校生の生活習慣と QOL．第 40 回富山県公衆衛生学会，2006. 2. 富山.
- 7) 鏡森定信，松原 勇，金山ひとみ，関根道和：公衆浴場利用者の健康状態に関する疫学調査．第 71 回日本温泉気候物理医学会，2006, 5, 札幌.
- 8) 林美貴子，本田幸子，品川保弘，Jia Guang，鏡森定信：ヒト胎児細胞を用いたコメントアッセイの検討 - DNA crosslinking 剤との併用について．第 46 回日本先天異常学会，2006, 6, 山形.
- 9) Alexandru G., Sekine M., Kagamimori S.: Epidemiological aspects of sleep latency among Japanese junior high schoolchildren. 日本睡眠学会第 31 回定期学術集会，2006. 6. 大津.
- 10) Shimmura T., Nagase H., Aratani T., and Kagamimori S.: Fluoride levels in various tea-based beverages of Japan and in Chinese tea infusions, 第 17 回日本微量元素学会，2006, 7, 静岡.
- 11) 孫迎春，関根道和，鏡森定信：日本の職業別死亡率の男女比較．産業衛生学会 第 16 回産業医・産業看護全国協議会，第 49 回北陸甲信越地方会総会，2006, 9, 新潟.
- 12) 直井 明，鏡森定信，カワチ イチロー：職場環境における肩凝り・腰痛頻度に係る諸要因と補完的代替医療サービスの研究．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 13) 孫迎春，関根道和，鏡森定信：Comparison of mortality rates among occupation groups in Japan. 第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 14) 立瀬剛志，鏡森定信，上馬場和夫，山上孝司：短期休養ツアーにおける心身健康度の増進効果．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 15) 松井利夫，鏡森定信：家庭風呂における転倒転落事故と疾病・心身および社会的健康との関連性．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 16) 松原 勇，鏡森定信：公衆浴場の習慣的利用と一般住民の生活習慣・健康状況等の事例・対照研究．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 17) 鏡森定信，関根道和，立瀬剛志，松原 勇：服用カプセルによる深部体温による日常生活行動のモニタリング．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 18) 鏡森定信：(学会長講演)「安全・安心を護る公衆衛生活動」．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 19) 中谷芳美，松原 勇，梶田悦子，鏡森定信：地域在住の女性高齢者における転倒・骨折経験と社会参加との関連．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006, 10, 富山．
- 20) 門脇英子，玉置淳子，伊木雅之，池田行宏，佐藤裕保，鏡森定信，香川芳子，米山秀夫：閉経期以降の女性における椎体骨折の有病率と発生率 - JPOS Cohort Study ．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006，10，富山．

- 21) 林美貴子, 本田幸子, 鏡森定信: 染色体異常を疑われた 2,000 例の検討 - 富山県衛生研究所における染色体検査の現状. 第 65 回日本公衆衛生学会総会, 2006, 10, 富山.
- 22) 新村哲夫, 長瀬博文, 荒谷哲雄, 鏡森定信: 市販お茶飲料および中国茶葉浸出液中のフッ素濃度について. 第 65 回日本公衆衛生学会総会, 2006, 10, 富山.
- 23) 新村哲夫: ランチョンセミナー 富山湾海洋深層水および濃縮水を利用した健康増進とスキンケア, 第 65 回日本公衆衛生学会総会, 2006, 10, 富山.
- 24) 孫迎春, 鏡森定信: 日本の最近 20 年間の職業別人口・死亡率の男女比. 第 71 回日本民族衛生学会, 2006. 11. 那覇.
- 25) 松井利夫, 鏡森定信: 共分散構造分析による公衆浴場(銭湯)利用と心身および社会的健康との因果関係の研究. 第 34 回北陸公衆衛生学会, 2006, 11, 金沢.
- 26) 新村哲夫, 荒谷哲雄, 三井博, 吉田淑子, 岡部素典, 古市恵津, 鏡森定信, 胡莉珍, 孫迎春, 廣瀬富雄, 水木亮史: 仔豚皮膚を用いた濃縮海洋深層水成分の皮膚浸透性に関する実験的研究. 第 10 回海洋深層水利用学会全国大会 2006 みえ尾鷲大会, 2006, 11, 尾鷲.

その他

- 1) 鏡森定信: 温泉と健康. 「温泉療法学」大城戸道生編, 125-130, 社団法人 民間活力開発機構, 東京, 2006.
- 2) 鏡森定信: (パネルディスカッション司会)「温泉療養の適応・禁忌症をめぐって」. 日温気物医誌, 70:16, 2006.
- 3) 鏡森定信: (講演)「運動と休養・睡眠」について. 平成 17 年度富山県生涯スポーツ協議会, 2006, 2, 朝日.
- 4) 鏡森定信: 学会への意気込み. 公衆衛生情報, 3 月号, 26-28, 2006.
- 5) 鏡森定信: 海洋深層水で浮遊浴を楽しむ. 月刊みんかつ, 206: 22-23, 2006.
- 6) 鏡森定信: (講義)「保健医学からみた温泉地の活用」. 温泉療養学セミナー, 2006, 2, 上越.
- 7) 鏡森定信: 杉谷に木を植えた皆さんへ - 新大学における杉谷キャンパスの独自性ある自立に向けて - . 富山大学医学部同窓会報, 15: 5, 2006.
- 8) 鏡森定信: (講演)「命を育む健康づくり」を富山から. 市民公開講座, 2006, 7, 富山.
- 9) 鏡森定信, 関根道和, 金山ひとみ, 大学教育の国際化推進プログラムプロジェクトグループ: 大学教育の国際化推進プログラム 海外先進教育実践支援「東西医学統合の医学教育の国際化推進」成果報告書. 富山大学医学部, 2006.3
- 10) 鏡森定信: (講演)「脳の健康と生活習慣」. 第 2 回むつみ会委員会(富山高校), 2006, 12, 富山.
- 11) 鏡森定信: (講演)「こどものころからの生活習慣病予防」. 平成 18 年度北信地区保健師研修会, 2006. 12. 長野.
- 12) 鏡森定信: (講演)「ストレス解消のための自然療法」. 平成 17 年度富山県産業医会研修会, 2006, 2, 富山.
- 13) 鏡森定信: (講演)「過重労働対策の進め方」「面接指導の手法」. 過重労働・メンタルヘルス対策及び健康情報保護に関する研修会, 財団法人産業医学振興財団, 2006, 8, 富山.
- 14) 鏡森定信他: 平成 17 年度全国都市再生モデル事業 「立山エリア再生における自然・文化・知的財産の活用調査事業」報告書. 国土交通省北陸信越運輸局, 2006.
- 15) アリ ナセリモアッデリ, 鏡森定信: 「温泉と健康効果に関する疫学的評価」研究実績報告書. 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究推進事業研究報告集, 長寿科学振興財団, 69-82, 2006.
- 16) 平野正治, 角田雅彦, 鏡森定信, 加須屋實: 富山県内の事業場におけるメンタルヘルスの取り組み状況について. さんぼとやま, 46: 2-3, 2006.
- 17) 新村哲夫, 長瀬博文, 荒谷哲雄, 鏡森定信: 市販のお茶飲料および中国茶葉浸出液中のフッ素濃度. 富山衛研年報, 29:152-156, 2006.
- 18) 関根道和: (新聞記事)「子の肥満, 親の悩み減らず」. 日本経済新聞, 2006 年 2 月 2 日(夕刊).
- 19) 関根道和: (講演)「睡眠からみた中学生の健康」. 小杉南中学校講演会, 2006, 1, 射水.
- 20) 関根道和: (講演)「睡眠からみた子どもの健康」砺波市立庄東小学校 PTA 家庭教育講演会, 2006, 2, 砺波.
- 21) 関根道和: (講演)「睡眠からみた小学生の健康」平成 17 年度第 2 回学校保健委員会. 富山市立大沢野小学校, 2006. 2. 富山.
- 22) 関根道和: (講演)「健康な社会 - 出生コホートと職域コホートの結果から - 」. 社会疫学研究会, 2006, 1, 東京.
- 23) 関根道和: (講演)「小児期からの健康づくりについて」幼児期からの生活習慣病予防教室. 柳原保育所, 2006. 7. 滑川.
- 24) 関根道和: (講演)「小児期からの生活習慣と健康づくり」. 射水市ヘルスボランティア講演会, 2006, 4, 射水.
- 25) 関根道和: (シンポジスト)「日本の疫学研究 - 生活習慣病との関連 - 」. 日本睡眠学会第 31 回定期学術集会(シンポジウム 5 「これからの子どもの睡眠研究に向けて」), 2006, 6, 大津.

- 26) 関根道和:(シンポジスト)「富山スタディから見た小児の生活習慣と肥満」.(パネルディスカッション「小児循環器学から見たメタボリックシンドローム」)第42回日本小児循環器学会総会・学術集会,2006,7,名古屋.
- 27) 関根道和:(シンポジスト)「小児期の生活習慣と肥満・メンタルヘルス:富山スタディの結果より」.第65回日本公衆衛生学会総会,サテライトシンポジウム「小児期の生活習慣と心身の成長」,2006,10,富山.
- 28) 関根道和,鏡森定信:(寄稿)「睡眠からみた子どもの健康」.医報とやま 勤務医コーナー シリーズ富山大学医学部,76:2006年2月15日.
- 29) 関根道和:(新聞記事)「寝ぬ子は太る?」.朝日新聞,2006年6月26日3頁(gooニュースにも掲載).
- 30) 関根道和:(雑誌記事)「肥満児は夏に作られる」.AERA朝日新聞社,2006年7月31日号,30-31頁.
- 31) 関根道和:(雑誌記事(オンライン版))「睡眠時間が短い3歳児は将来の肥満リスク高まる-日本睡眠学会での報告-」.日経ヘルス(オンライン),2006年7月3日
- 32) 関根道和:(雑誌記事)「睡眠研究最前線:3歳時に睡眠不足の子は,将来,肥満になりやすい?」日経ヘルス2006年9月号54頁.
- 33) 関根道和:(ラジオ電話出演)「トレぴち第8回「子どもの睡眠と肥満の関係」.FM NACK5「NACK WITH YOU」,2006年6月29日.
- 34) 関根道和:(テレビ出演)「子どもの生活習慣を見直しませんか?」.富山テレビ放送「週間とやま元気家族」,2006年2月19日.
- 35) 関根道和:(テレビ電話取材)「睡眠不足と肥満の関係について」.毎日放送「ちちんぷいぷい」,2006年6月28日.
- 36) 関根道和:(新聞記事)「若年肥満,3歳で睡眠不足」,京都新聞,2006年6月30日(YAHOO JAPAN NEWSにも掲載).
- 37) 関根道和:(講演)「小児期からの総合的健康づくりについて」,平成18年度学校栄養職員等研修会,2006,8,富山.
- 38) 関根道和:(講演)「高校生における総合的な健康づくりを考える」.平成18年度第34回私学教育研修会,2006,8,富山.
- 39) 関根道和:(新聞記事)「子どもの肥満対策(3):早寝早起き朝ごはん」.医療ルネサンス No.3900,読売新聞,2006年7月14日,14頁.
- 40) 関根道和:(新聞記事)「子供を早く寝かすコツ」.(生活・ファミリー欄)日本経済新聞(夕刊),2006年8月1日11頁.
- 41) 関根道和:(雑誌記事)「子供だって「メタボリック」に要注意:10人に1人が肥満」.週刊文春,2006年8月10日号49-51頁.
- 42) 関根道和:(新聞記事)「子どもの睡眠障害:イライラや集中力不足・・・問題行動,学力低下招く」.読売新聞,2006年8月20日16頁.
- 43) 関根道和:(新聞記事)「3歳の寝不足,肥満を助長」.産経新聞,こども大変時代:第6章生活習慣とアレルギー,2006年9月25日,13頁.
- 44) 関根道和:(講演)「よりよい睡眠をめざそう」.射水市立小杉南中学校講演会,2006,11,富山
- 45) 関根道和:(講演)「睡眠からみた小学生の健康」.射水市立下村小学校 PTA 家庭教育学級講演会,2006,11,富山.
- 46) 関根道和:(講演)「社会経済的要因による健康格差に関する日英フィンランド比較研究」.名古屋市立大学大学院経済学研究科.附属経済研究所セミナー,2006,11,名古屋.
- 47) 関根道和:(テレビ出演)「小児肥満の現状」.富山テレビ放送 BBT スーパーニュース 医療最前線,2006年11月14日.
- 48) 関根道和:(オンライン記事)「温泉に入ると欠勤が減る!? スパリゾートの意外な効果」.健康トレンドィ,2006年11月9日.
- 49) 関根道和:(記事)「見直そう,親子の生活習慣」.神山潤監修「子どもの生活習慣確立東京都協議会」チラシ,2006年11月.
- 50) 関根道和:(テレビ出演)「健康ラウンジ~早寝早起き朝ごはん」.北陸朝日放送 健康の館,2006,11.
- 51) 関根道和:(講演)「論文の読み方」.第11回富山大学附属病院臨床研修医イブニングセミナー,2006.12.富山.
- 52) 立瀬剛志:(新聞記事)「立山はみている-癒しの山可能性無限-」.読売新聞(朝刊),2006年5月13日.
- 53) 立瀬剛志:(講演)「コーディネータとは-コーディネートできることの意味を考える」.北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター,2006.11.石川.